

日本 OR 学会 2017 年度中部支部シンポジウム
「準モンテカルロ法の理論と OR」

日時: 2017 年 9 月 16 日 (土) 13:15-17:55

場所: ウィンクあいち 15 階 (愛知県立大学サテライトキャンパス)
〒450-0002 名古屋市東区中村区名駅 4 丁目 4-38 <http://www.winc-aichi.jp/access/>

シンポジウム趣旨

情報化社会が進んだ今日、蓄積された膨大な情報 (ビッグデータ) を利活用することは必須となっている。そのような状況の中で、解析的に計算することが難しい高次元における数値積分法の必要性がますます高まっている。本シンポジウムでは、そのような高次元における積分法を実現する方法のひとつである「準モンテカルロ法」の理論とその応用をテーマとし、この分野の最前線で活躍されている研究者を招き、最新の研究成果や活用事例などを報告していただく。また、今後の研究交流の可能性を一同で模索する。

プログラム

13:15-13:20 開会挨拶 伏見 正則 (東京大学名誉教授)

13:20-14:20 「準モンテカルロ法の使い方」

講師: 諸星 穂積 (政策研究大学院大学)

14:30-15:30 「準モンテカルロ法の基礎から工学的応用の可能性まで」

講師: 合田 隆 (東京大学大学院工学研究科)

15:40-16:40 「フィナンシャル・エンジニアリングにおける準モンテカルロ法の効率化」

講師: 今井 潤一 (慶応義塾大学理工学部)

16:50-17:50 「64 ビット高性能線形疑似乱数発生法の開発」

講師: 原瀬 晋 (立命館大学理工学部)

17:50-17:55 閉会挨拶 奥田 隆史・平尾 将剛 (愛知県立大学情報科学部)

参加費

1,000 円 (ただし、学生は無料)

懇親会

シンポジウム終了後、懇親会を計画しています (予定会費 5,000 円)。懇親会に参加される方は、会場予約の都合上、下記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

申し込み方法

問い合わせ先にある中部支部の Web ページからお申し込みください (締切: 2017 年 9 月 1 日 (金))。シンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会に参加される方は、席の確保のため、事前申し込みを必ずお願いします。

後援・協賛団体等

主催: 日本オペレーションズ・リサーチ学会中部支部 後援: 中部産業連盟 協賛: IEEE 名古屋支部, 電子情報通信学会東海支部, 電子情報通信学会 システム数理と応用研究会 (MSS 研究会), 中部品質管理協会, 日本経営工学会中部支部, 日本品質管理学会中部支部

問い合わせ先

詳しくは中部支部の Web ページ (<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2727>) をご覧ください。

お問い合わせ先: OR 学会中部支部研究幹事 平尾将剛 (hirao@ist.aichi-pu.ac.jp)